

## 令和4年度 第2回名取市中小企業・小規模企業振興会議 会 議 録

- 1 日 時 令和4年11月14日(月) 10:00～11:30
- 2 場 所 名取市商工会 2階大会議室
- 3 出席者 委員8名(欠席3名) ※詳細は別添委員名簿参照  
事務局員4名  
※生活経済部：大久保部長  
商工観光課：渡邊課長、阿部主幹兼係長、籠嶋主事

### 4 令和4年度 第1回名取市中小企業・小規模企業振興会議 概要

#### (1) 開 会

#### (2) 協議事項 (座長：会長)

①輸出促進について(資料1、2参照)

②雇用対策について(資料1、3参照)

・宮城労働局との雇用対策協定締結に向けて(資料4参照)

③その他(資料5参照)

・名取市地域応援プレミアム商品券についての情報提供

・名取市原油価格・物価高騰対策経営支援金の申請受付期間延長  
(～11月30日まで)

#### (3) 閉 会

#### 【協議事項について】

中小企業・小規模企業振興条例及び長期総合計画に明記されている輸出の促進及び雇用の対策について、それぞれの分野に精通する各委員より様々な意見、提案が行われ、盛んな意見交換が行われた。

#### <各委員からの意見>

##### ○輸出促進について

・日本の農作物の輸出成功の例として、基礎作りの徹底によるブランド力の強化が成功の秘訣となったケースがある。ブランド力に特化し、輸出の「仕組み」作りを徹底することが輸出事業の成功に繋がる。よって、輸出事業の成功を後

押しするために、まずは輸出を行おうとする製品、商品等の基礎作りに関する講習会等が効果的である。

・商工会と農業法人との連携はどのような対応を行っているか。  
→会長・・・過去には農協等と連携して販売等を行えないか協議したことや、好調な事業者の商品に地元の特産品を組み込むよう働きかけたこともある。

・自社として過去に何度か輸出事業を行い、上海や香港のデパートにて販売会を実施した。販売会当日には、日系人や現地の料理人が訪れ多くの売り上げを上げることが出来たが、現地での流通相手等の確保に至らず、商社を間に入れても次に繋がらない場合もあった。また、ある程度の物量が無ければそもそもビジネスとして成立が難しいため、小規模での輸出成功は困難である。行政に望む事としては、海外の展示会参加へ協力してもらうような取組が欲しい。  
→小島会長・・・展示会からその次に繋げる事が、挑戦している事業者を見ると難しい場合もあるようである。

・宮城県の企業は全体として外貨預金が少なく、全体額の1%も無い状況であるため、輸出を行っている企業は少ないと考える。まずは市内や県内で収益を拡大し、次の柱として輸出に挑戦すべきであると考え。また、輸出にあたっては商品毎のバックアップも大切であり、地場産品のバックアップとして市等で市場調査を行う事も有効な支援に繋がるものと考え。

・輸出に関して学校として事業化を進めることがあるが、現地協力をつける際には大手商社に協力してもらっている。市等には、商社に協力を取り付ける関係の支援をしてもらおうとありがたい。輸出の課題としては、大手商社等の協力を得ない場合、信頼出来る取引先を確保するハードルが上がる。優良では無い取引先の場合、目的の販売場所と全く異なる所で製品を売却されたケースもある。また、優良な取引先確保の為にボリュームを持って商談を行えるように市でコンペ等を行い競争力を高めるような取組みがあると良いと考える。

・海外輸出を考えた際には、輸出量での競争は市内事業者の業態から困難であるため、加工品等で品質での勝負が望ましいと考える。しかしながら、取引を成立させるには一定以上のボリュームが必要である。例えば、「名取」として製品をまとめた輸出が出来ると良いと考える。まずは国内の展示会等に「なとり」としてブースを出し、ブランドイメージを作り出すことが有効だと考える。また、経済産業省等で輸出に関する企業間マッチングを促すサイトがある。市

として輸出に挑戦する企業の参考となるような、輸出に関してのニーズ、国の規制等の関連情報をまとめて掲示することも効果的ではないか。

→事務局・・・現状ではスタグフレーションが起これつつあると認識している。輸出という事柄と現状を踏まえ、直ぐに何かを対応する事は困難であるため、事業者が知識を付けるための勉強会等を市として考えたい。

→実際に挑戦した経験のある身としては、展示会等に参加すると沢山の発見が事業者にもたらされると考える。手法や理論が分かっている、現実が異なる場合も多いため、まず挑戦することも重要である。

#### ○雇用対策について

・市で開催する出張ハローワークについては、何年か前に非常に盛況で就職に繋がったケースもあり、参加者が多ければ求職者のニーズも見えてくる良い取組であった。

→商工会で開催している創業セミナーも直近では大いに盛況しており、女性で創業に意欲を示す方が大幅に増えた印象がある。参加年齢も全体として幅広くなっている。

・労働局と市が協定を結ぶ予定とあったが、いつ頃締結する予定か。

→事務局・・・年度内予定である。

・建設業界では現在高齢化が進んでおり、若手の育成が重要となっている。高齢となった職人は体で覚えた技能があり、若手育成の面でも現場においても重要な存在である。そのような人材を確保する取組も業界によっては有益である。

・人材育成と雇用問題は分けて考える必要もある。それぞれの内容に絞った支援を行うことが効果的となる場合も多い。学校としてリカレント教育を行っており、教員が企業に出向き企業の若手職員のスキルアップをサポートしている。市としてもこういった取組への橋渡しを支援していただくと効果的である。また、学校として社会人向けに単位を細かく設定し部分で学ぶ事も出来る。そういった一定の分野を履修した方に対し、市がお墨付きを与える制度も効果的である。

○その他について

・事務局・・・本会議は元々円卓会議を想定したものであり、今回の会議はその趣旨に合致する内容であったと考える。年少、青年の方々に地元の企業を知ってもらう事が長い目で見れば雇用促進に繋がるため、仕事博覧会を開催するのも良いと考える。

・今回の会議は非常に活発な議論が交わされており良い会議内容であった。今後もこのように議論が交わされる会議が望ましい。

以上

## 名取市中小企業・小規模企業振興会議委員名簿

令和4年11月14日現在

No.	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1	小 島 哲 夫	名取市商工会・会 長	会 長
2	柳 沼 宏 昌	名取市商工会・理 事 商業部会長	欠席
3	大 友 康 信	名取市商工会・理 事 サービス業部会長	
4	庄 子 寿 和	名取市商工会・理 事	
5	百 田 英 樹	名取市商工会・理 事 工業部会副部会長	
6	掃 部 晃	名取市企業連絡協議会・副会長 サッポロビール株式会社仙台工場・工場長	欠席
7	佐々木 圭 亮	名取市企業連絡協議会・会 員 株式会社ささ圭・代表取締役	
8	佐 藤 正 敏	株式会社七十七銀行増田支店・支店長	
9	森 屋 克 典	仙南信用金庫名取支店・支店長	欠席
10	若 生 一 広	独立行政法人 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校 総合工学科 教 授	
11	張 涛	尚綱学院大学 総合人間科学部 現代社会学科 教 授	

### 【事務局】

- ・名取市生活経済部
- ・名取市生活経済部商工観光課

部 長     大久保 啓 二  
 課 長     渡 邊 英 樹  
 課長補佐   林 タケル  
 主幹兼係長 阿部 のぞみ  
 主 事     籠嶋 瑛